

熊本学園大学 令和6年度授業評価調査実施の概要

1. 調査の概要

1.1 調査目的

「学生による授業評価アンケート」は、授業に対する学生の意見を聴き、今後の授業改善に役立てる資料とすることを目的とする。

1.2 調査対象

調査対象科目は、令和6年度の春・秋学期開設科目および通年科目が対象となった。

1.3 調査の実施および実施結果の作成

アンケートの実施および授業評価アンケート実施結果の作成は、授業評価制度委員会が担当した。

アンケートの回答には熊本学園大学ポータルシステムを利用して実施した。

1.4 調査項目の構成

調査項目の構成は以下のとおりであった。

- A. 授業内容と進め方について
- B. あなた自身授業を受けたことで、どのような成果がありましたか
- C. あなた自身の受講態度について
- D. 教員の授業運営について
- E. 授業全般について
- F. 自由記述

1.5 調査期間

春学期 令和6年7月1日（月）～7月13日（土）の2週間としていたが、令和6年7月21日（日）まで延長して実施した。

秋学期 令和6年12月11日（水）～12月24日（火）の2週間としていたが、令和7年1月6日（月）まで延長して実施した。

1.6 調査結果の取り扱いおよび公表

調査結果の取り扱いは以下のとおりとする。

- （1）「授業評価」の評価結果を教員評価や教員に対する人事考課に利用しない。
- （2）個々の授業科目の評価結果については当該科目の履修者のみに公表する。
- （3）学部長は評価結果を学部の授業の改善等に活用する。
- （4）教員は評価結果を参考として次年度シラバスの執筆に活用する。

- (5) 教員は評価結果をもとに、「授業改善報告書」を期日までに提出する。
- (6) 提出された「授業改善報告書」については、学部長の下で管理する。
- (7) 「授業改善報告書」は、学部による授業改善に役立てる。
- (8) 自由記述内容は、集計に含まず、授業担当教員に配布する。
- (9) 授業評価アンケート実施結果については、Web上で公表を行う。
- (10) 授業評価アンケート実施結果に基づき教員は学生へフィードバックを行う。

1.7 調査の集計

調査の集計にあたっては、無回答も含めた数値を総数とした。ただし、パーセンテージは小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位で表記した。

2. 調査対象と回答状況（春学期）

2.1 調査対象

(1) 授業科目

調査対象となった授業科目 1,118科目のうち、アンケートの回答があった科目は962科目で、実施率は86.0%であった。

表1 授業科目

対象科目数	回答科目数	実施率 (%)
1,118	962	86.0

2.2 回答状況

(1) 全体

調査対象科目の履修者総数47,866人中、回答した履修者は19,069人で、回答率は39.8%であった。

表2 回答状況

	授業形態	履修者総数	回答者数	回答率 (%)
全 体	実技実習＋講義	47,866	19,069	39.8

3. 調査対象と回答状況（秋学期）

3.1 調査対象

（1）授業科目

調査対象となった授業科目1,341科目のうち、アンケートの回答があった科目は1,028科目で、実施率は76.7%であった。

表1 授業科目

対象科目数	回答科目数	実施率（%）
1,341	1,028	76.7

3.2 回答状況

（1）全体

調査対象科目の履修者総数44,450人中、回答した履修者は12,299人で、回答率は27.7%であった。

表2 回答状況

	授業形態	履修者総数	回答者数	回答率（%）
全 体	実技実習＋講義	44,450	12,299	27.7